



## 2021年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月13日

上場会社名 株式会社セラク 上場取引所 東  
 コード番号 6199 URL http://www.seraku.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 宮崎 龍己  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理本部長 (氏名) 小関 智春 (TEL) 03(3227)2321  
 四半期報告書提出予定日 2021年1月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年8月期第1四半期の連結業績（2020年9月1日～2020年11月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第1四半期	3,520	11.4	268	27.7	486	130.2	286	137.0
2020年8月期第1四半期	3,161	22.5	210	513.8	211	453.8	120	—

(注) 包括利益 2021年8月期第1四半期 285百万円 (134.3%) 2020年8月期第1四半期 121百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第1四半期	20.79	20.56
2020年8月期第1四半期	8.77	8.76

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第1四半期	7,652	3,651	47.7
2020年8月期	7,342	3,429	46.7

(参考) 自己資本 2021年8月期第1四半期 3,647百万円 2020年8月期 3,425百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—	0.00	—	4.60	4.60
2021年8月期	—	—	—	—	—
2021年8月期（予想）	—	0.00	—	5.60	5.60

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年8月期の連結業績予想（2020年9月1日～2021年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	7,270	11.0	585	32.5	853	91.2	495	73.9	35.96
通期	15,020	9.1	1,370	20.8	1,650	41.6	957	46.3	69.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年8月期1Q	13,767,200株	2020年8月期	13,767,200株
② 期末自己株式数	2021年8月期1Q	84株	2020年8月期	62株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年8月期1Q	13,767,118株	2020年8月期1Q	13,767,161株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(追加情報)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内外における新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にあります。景気の先行きについては、新型コロナウイルスの拡大を防止しつつ社会経済活動を維持していくための政府による取り組みもあり、国内景気は持ち直しの動きは見られるものの、感染症の再拡大に対する懸念も含め先行きの不透明な状況が継続しております。

当社グループが主にサービスを提供する情報産業分野においては、投資拡大が期待されるIoTサービス、クラウド、ビッグデータやAIなど新たな技術の活用への投資が拡大し、またそれに伴い巧妙化するサイバー攻撃に対応するセキュリティサービスなど、活発に広がりを見せ、これら企業の需要に対応する質の高いITエンジニアの採用・育成の重要性が増しております。

このような環境の下、当社グループは積極的な人材の採用及び良質なエンジニアの育成によるサービスの価値向上に取り組むとともに、「みどりクラウド」による農業IT分野でのシェア拡大に注力してまいりました。

これらの結果、当社グループの売上高は3,520,121千円（前年同期比11.4%増）、営業利益は268,411千円（前年同期比27.7%増）、経常利益は486,430千円（前年同期比130.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は286,223千円（前年同期比137.0%増）となりました。

また、事業分野別のセグメント概況は、以下の通りであります。

## ① システムインテグレーション事業

システムインテグレーション事業においては、既存技術領域でのIT技術支援を推進し、長期安定的な分野であるITインフラ・クラウドテクノロジーや、デジタルクリエイティブ・WEB運営、WEBシステム開発などのサービスを提供しております。

当第1四半期連結累計期間においては、「クラウド運用」「プロジェクトマネジメント」「デジタル・マーケティング」等の成長領域における人材拡充に取り組んでまいりました。新型コロナウイルスに伴う市況悪化の影響により企業の新規ICT投資に一定の縮小が生じたものの、当事業の大部分を占めているシステム設計およびネットワーク運用案件においては大きなマイナス影響を受けることなく推移することができました。

新規案件の減少を補うべく、経験者採用を推進するとともに「請負準委任化」や「主力ユーザーの横展開拡大」、「パートナー企業との協業連携」に取り組みました。

これらの結果、当セグメントの売上高は2,591,399千円（前年同期比2.1%減）、セグメント利益は207,776千円（前年同期比10.8%減）となりました。

## ② デジタルトランスフォーメーション事業

デジタルトランスフォーメーション事業においては、企業の情報資産を保護するサイバーセキュリティ、SalesForceの定着支援を軸としたカスタマーサクセス事業、RPAによる業務の効率化、ITの活用で儲かる農業を実現する「みどりクラウド」等の先端技術を用いたサービスを提供しております。

当第1四半期連結累計期間においては、システムインテグレーション事業に従事している技術者のDXシフトを推進すると共に、リセールビジネスを拡大するための取り扱い商材の拡充に注力いたしました。

また、「みどりクラウド」においては、農林水産省の経営継続補助金を活用したみどりクラウドの導入促進や、青果流通支援も含めたソリューションの拡大を進めるためのアライアンス推進に取り組んでまいりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は812,086千円（前年同期比94.6%増）、セグメント利益は49,695千円（前年同期はセグメント利益582千円）となりました。

## ③ 機械設計エンジニアリング事業

機械設計エンジニアリング事業においては、連結子会社である株式会社ピースエンジニアリングでの3DCAD分野の技術提供、機械・金型などの受託設計サービス、実験や性能検査などの品質管理に関わる技術を提供しております。

当第1四半期連結累計期間においても、引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う市況の悪化により案件の減少はあるものの、新たな分野（通信建設/工作機械/ロボット）へのアプローチを継続して取り組んでまいりました。

また、稼働率の適正化を図るべく、初期研修においては実践型社内プロジェクトに参画することで早期の戦力化に努めてまいりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は115,858千円（前年同期比20.9%増）、セグメント利益は10,410千円（前年同期はセグメント損失11,483千円）となりました。

④ その他事業

その他事業においては、連結子会社である株式会社セラクE C Aでの有料職業紹介・人材派遣・IT技術教育講座等のサービスを提供しております。

当第1四半期連結累計期間においても、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う顧客企業の採用需要の減少や採用活動の中断、延期などが続いております。

これらの結果、当セグメントの売上高は2,035千円（前年同期はセグメント売上高10,321千円）、セグメント利益は528千円（前年同期はセグメント損失1,278千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ309,846千円増加し7,652,218千円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が201,064千円減少したものの、現金及び預金が327,835千円、繰延税金資産が95,805千円、原材料が33,091千円、仕掛品が16,825千円、流動資産その他が24,395千円増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ87,672千円増加し4,000,314千円となりました。これは主に、賞与引当金が281,265千円、未払消費税等が199,581千円、未払法人税等が55,771千円、長期借入金が16,665千円、流動負債その他が50,621千円減少したものの、未払金が712,976千円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ222,174千円増加し3,651,904千円となりました。これは主に、利益剰余金が222,897千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年8月期の業績予想につきましては、2020年10月15日の「2020年8月期決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,329,351	4,657,186
受取手形及び売掛金	1,826,711	1,625,646
仕掛品	19,453	36,278
原材料	36,816	69,908
その他	107,482	131,878
貸倒引当金	△4,124	△3,285
流動資産合計	6,315,690	6,517,611
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	111,892	110,404
工具、器具及び備品(純額)	22,794	25,812
建設仮勘定	—	14,377
その他	0	0
有形固定資産合計	134,686	150,594
無形固定資産		
のれん	25,093	22,811
ソフトウェア	8,692	7,491
その他	1,844	1,815
無形固定資産合計	35,630	32,119
投資その他の資産		
投資有価証券	132,702	133,058
繰延税金資産	383,832	479,637
敷金及び保証金	214,613	213,505
その他	125,216	125,692
投資その他の資産合計	856,364	951,893
固定資産合計	1,026,681	1,134,607
資産合計	7,342,372	7,652,218
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	57,323	58,864
1年内返済予定の長期借入金	106,660	90,660
未払金	924,007	1,636,984
未払法人税等	369,631	313,859
未払消費税等	504,583	305,001
賞与引当金	639,927	358,662
その他	170,966	120,344
流動負債合計	2,773,098	2,884,376
固定負債		
長期借入金	1,005,570	988,905
退職給付に係る負債	133,900	126,990
その他	72	41
固定負債合計	1,139,542	1,115,937
負債合計	3,912,641	4,000,314

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	297,974	297,974
資本剰余金	495,724	495,724
利益剰余金	2,628,218	2,851,116
自己株式	△62	△98
株主資本合計	3,421,855	3,644,716
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	65	312
退職給付に係る調整累計額	3,647	2,735
その他の包括利益累計額合計	3,712	3,047
新株予約権	4,162	4,140
純資産合計	3,429,730	3,651,904
負債純資産合計	7,342,372	7,652,218

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)
売上高	3,161,151	3,520,121
売上原価	2,385,559	2,716,122
売上総利益	775,592	803,998
販売費及び一般管理費	565,397	535,586
営業利益	210,194	268,411
営業外収益		
受取利息及び配当金	429	392
助成金収入	400	216,342
受取補償金	149	—
その他	524	2,339
営業外収益合計	1,503	219,074
営業外費用		
支払利息	245	1,052
雑損失	179	1
営業外費用合計	424	1,054
経常利益	211,273	486,430
特別利益		
新株予約権戻入益	125	21
特別利益合計	125	21
税金等調整前四半期純利益	211,399	486,452
法人税、住民税及び事業税	175,919	295,741
法人税等調整額	△85,279	△95,512
法人税等合計	90,640	200,229
四半期純利益	120,758	286,223
親会社株主に帰属する四半期純利益	120,758	286,223



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益	120,758	286,223
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	327	246
退職給付に係る調整額	789	△911
その他の包括利益合計	1,117	△664
四半期包括利益	121,875	285,558
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	121,875	285,558

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルスの感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の拡大により、経済や企業活動に甚大な影響を与えており、依然として国内経済は先行き不透明な状況が続くものと推測しておりますが、当社グループの業績に与える影響については、前連結会計年度の決算短信の(追加情報)に記載した「新型コロナウイルスの感染拡大の影響に関する会計上の見積り」について重要な変更は現在ありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	システム インテグ レーション	デジタル トランス フォー メーション	機械設計 エンジニア リング	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,648,084	417,327	92,219	3,157,631	3,519	3,161,151	—	3,161,151
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	3,631	3,631	6,801	10,433	△10,433	—
計	2,648,084	417,327	95,851	3,161,263	10,321	3,171,585	△10,433	3,161,151
セグメント利益又はセグメント損 失(△)	232,807	582	△11,483	221,907	△1,278	220,628	△10,433	210,194

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有料職業紹介、人材派遣、IT技術教育講座等の事業であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去△10,433千円が含まれております。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	システム インテグ レーション	デジタル トランス フォー メーション	機械設計 エンジニア リング	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,591,399	812,086	114,598	3,518,085	2,035	3,520,121	—	3,520,121
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	1,260	1,260	—	1,260	△1,260	—
計	2,591,399	812,086	115,858	3,519,345	2,035	3,521,381	△1,260	3,520,121
セグメント利益	207,776	49,695	10,410	267,882	528	268,411	—	268,411

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有料職業紹介、人材派遣、IT技術教育講座等の事業であります。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引消去であり、セグメント間取引消去△1,260千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。